

# 戸籍の窓

【～8月31日まで 届出】

## ご結婚おめでとう

氏名	住所
小口 亘	高玉
竹田 希	鮎貝

## こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
山口 高橋	広美 友紀	りく 陸と 翔
鮎貝 佐久間	達也 京子	うみ 海か 華
畔藤 鈴木	栄裕 由美子	あや 綾な 夏
畔藤 菅原	昌和 茜	そら
山口 片倉	拓朗 真波美	り理お 緒
萩野 紺野	晃 智佳子	ひ陽な 葵
十王 川合	拓敏 るみ	み未あ 逢

## お く や み

住所	氏名	年齢
荒砥乙	吉田 トミノ	88
荒砥乙	小関 やす系	70
高玉	長谷部 博	87
十王	五十峯 よね	97
横田尻	新保 伊勢吉	91
浅立	小形 洋二	72
滝野	海老名 妙子	79
荒砥甲	和田 モエ	89
畔藤	菅原 兼男	87
荒砥乙	大貫 啓由	76
鮎貝	横沢 悟	64
横田尻	高橋 卯一郎	94
横田尻	丸川 雄次	55
針生	今野 昭夫	85
鮎貝	矢嶋 誠一	77



今日は、「しらたか旅先案内人」のひとくちコラムです

## 白鷹の秋の風物

# 最上川のヤナ場での「落ち鮎漁」について

産卵のために河口に向かう「落ち鮎」をとらえる代表的な漁法が「ヤナ漁」です。白鷹町は最上川の上流部の3分の1の位置にあり、白鷹町から河口まで167.8 kmあります。ここまで遡上してくるまで、強くたくましい鮎になります。

鮎は川の苔を餌にしており、良質な餌場を求めて河口から遡上します。ヤナ公園付近は川底が岩盤で、鮎の餌となるケイソウ類が豊富にあります。水深2メートルほどで、浅く流れが速いという条件が重なり、香り・姿・形が良いと言われています。

成魚期に入った鮎は、青年期としてひと夏を過ごし、産卵のために河口を目指します。抱卵した鮎は、遡上の時とは逆に、夜に行動を起こします。川が増水を始め、やがて増水が治まって少しずつ水が引き始めようとするまさにその一瞬の水に乗って、一気に川を下ります。

これは、外敵から身を守ったり、さまざまな障害をやり過ごすためといわれており、本能であるとされています。一匹のメスに、数十匹のオスがついているともいわれています。



明治から昭和にかけて、菖蒲・下山・大瀬に3つのヤナ場がありました。昭和の初め頃は鮎一匹30銭前後、料理屋に上がれば50銭程度とされ、当時の土工の日当に匹敵したそうです。「一生に一度は荒砥の鮎が食べたい」と言われていたほどであり、鮎がいかにも高級魚だったかがわかります。



9月13日から15日まで開催される「第38回白鷹鮎まつり」会場「総合案内」では、しらたか旅先案内人が、鮎のこと、まつりのこと、町内の観光情報などをご案内いたします。お気軽にお声掛けください。



情報やお問い合わせにつきましては観光協会(86-0086)まで。ホームページでも随時情報を発信しております。

白鷹町観光協会 検索

▼暑い暑いと汗をかいていた期間も、過ぎてみれば一時だったように思います。朝晩はめっきり涼しくなり、田んぼの稲穂も頭を垂れてきました。いも煮会鮎まつり、若鮎マラソン、地区対抗駅伝などが話題になると、食欲の秋、スポーツの秋がやってくるなと思います。今年は町誕生60周年の記念美術展として「いわさきちひろ展」が開催されますので「芸術の秋」としても鑑賞したいですね。10月には同じく町誕生60周年の記念講演会に宇宙飛行士の星出彰彦さんが来町されます。宇宙のお話を聴けるのはまたとない機会かと思えます。町の将来を担う若い方も、皆さんお誘いあわせてご参加ください。(すだ)



SELF JUDGE  
編集後記

戸籍の窓に載せたい方は、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。